

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	11-	1
事業名	労働諸費	会計	款	項
		一般	5	1
課目	4 持続可能な町の経営ができるために	課名	産業課	
施策	4-2 行政機能の確保・管理	係名	産業振興係	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	住民に身近で便利な共同福祉施設の運営をすることにより、住民福祉の向上を図ります。
事業内容	東員共同福祉施設管理事務・・・ 施設の効率的な運営を実現するため、指定管理者制度を活用する。 東員共同福祉施設施設整備事務・・・ 中長期整備計画に基づいた計画的改修により施設の長寿命化を図る。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1						
2							
3	事業の性質上、指標設定は馴染みません。						
4							
5							
		令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B		37,081		10,382		92,271	
財源内訳	直接事業費 A	35,431		8,732		89,301	
	うち一般財源	6,707		6,725		16,722	
人件費 (千円) B		1,650		1,650		2,970	
内訳	一般職員 (人・千円)	0.25	1,650	0.25	1,650	0.45	2,970
	臨時職員 (人・千円)	0	0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	他の公共施設との歩調を合わせた使用料の見直し、町と商工会との財政面を考慮した改修費用の平準化を図る。	③取組の課題	施設の有効利用の促進、商工会との複合施設の改修調整 (中長期整備計画に基づく施設の長寿命化) を図る必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> R4実施予定の施設改修計画の工事設計を行った。 R4からの共同福祉施設指定管理者について、選定委員会において審議を行い、指定管理者の選定を行った。 	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 他の公共施設との歩調を合わせた使用料の見直し、町と商工会との財政面を考慮した改修費用の平準化を図る。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	11-	2
事業名	農業委員会経費	会計	款	項
		一般	6	1
政策	7 生活を支える担い手があり続けるために	課名	産業課	
施策	7-1 農業の振興	係名	産業振興係	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	農地所有者、担い手農家	目的 (対象がどのような状態になっているか)	意欲ある農業経営体への農地集積、新規就農者及び担い手の確保・育成を図り、経営規模の拡大と耕作放棄地の解消に努めます。
事業内容	農業委員会が取り組む最も重要な業務として位置付けられている「農地等の利用の最適化の推進」業務を農業委員及び農地利用最適化推進委員と連携して取り組みます。 ○農業委員：毎月1回定例会を開催し、農地法に基づく農地転用や売買、貸し借りなどの許認可等の法令業務及び現地確認調査を行います。 ○推進委員：担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、担い手の育成、新規参入の促進など現場活動を行います。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1	人・農地プラン作成数	1			件	↑	5
2								
3								
4								
5								
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			10,330		14,639		11,393	
財源内訳	直接事業費 A		2,410		6,719		3,473	
	うち一般財源		2,334		6,644		3,400	
人件費 (千円) B			7,920		7,920		7,920	
内訳	一般職員 (人・千円)		1.20	7,920	1.20	7,920	1.20	7,920
	臨時職員 (人・千円)		0	0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	人と農地の問題対策について、農業委員会で定めた地区協議会を活用し、各地区における課題や解消方法等の情報共有を図り、地域での活動に繋げる。	③取組の課題	将来を見据えた農地の在り方について、農業委員会が主体となり、地域ごとで「人・農地プランの実質化」に向けた取り組みを積極的に推進する必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1回農業委員会定例会を開催。 ※法令に基づく許認可等の業務及び現地確認調査 農地利用状況調査の実施 (年1回) 人・農地プラン地域検討会 (南大社地区) 	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 人と農地の問題対策について、農業委員会で定めた地区協議会を活用し、各地区における課題や解消方法等の情報共有を図り、地域での活動に繋げる。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	11-	3
事業名	農業振興対策事業	
会計	款	項
一般	6	1
目	3	
課名	産業課	
係名	産業振興係	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	目的 (対象がどのような状態になっているか)	時代のニーズに即した安全・安心な食料供給を図り、農業の持つ多面的機能の保全・活用を進め、多様な農業振興施策を総合的・計画的に推進し、持続可能な農業に取り組みます。
事業内容	農業者、農業団体	<p>景観形成作物栽培事業・・・町のイメージアップ及び地域活性化を図るため転作農地を有効活用し、コスモスの作付けをします。</p> <p>認定農業者特別制度資金利子補給金 ・・・農業経営の効率化及び安定化を図るため、農業者等が借り入れた制度資金の利子補給金を交付します。</p> <p>経営所得安定対策事業・・・米や麦、大豆等の畑作物も含めた生産数量目標の検討や対象作物の生産振興策等について協議しています。※東員町地域農業再生協議会運営費</p> <p>水田麦・大豆産地生産性向上事業 ・・・水田における麦・大豆の生産拡大を推進するにあたり、効率的な作業を可能とするため、機械の導入支援を行います。</p> <p>農業経営収入保険加入促進対策事業 ・・・自然災害による農業収入の減少等に備えるため、農業経営収入保険への加入を促進します。</p> <p>多面的機能支払事業・・・地域の大切な資源である農地、農業用水路等の生産基盤を守り、農業の質の向上、農村環境の向上の取り組みを実施します。</p> <p>有害鳥獣捕獲許認可事務・・・有害鳥獣捕獲許可申請及び捕獲許可決定の手続きをします。</p>	

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
	1	認定農業者数(個人、法人)	30			件	→	30
2								
3								
4								
5								
			令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)			
全体事業費(千円) A+B				50,945	95,489	89,122		
財源内訳	直接事業費 A			38,801	80,969	73,942		
	うち一般財源			11,851	9,585	37,582		
人件費(千円) B				12,144	14,520	15,180		
内訳	一般職員(人・千円)		1.84	12,144	2.20	14,520	2.30	15,180
	臨時職員(人・千円)		0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	新型コロナウイルス感染症の影響や今後起こりうる自然災害による農業収入の減少を補填する農業経営収入保険への加入を促進し、農業者の経営安定と農業の維持を図る。	③取組の課題	新型コロナウイルス感染症の影響による農業者の収入減少に関して対策を講じる必要がある。
------------	---	--------	--

<p>②R3年度に実施した取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・転作農地を活用し、コスモスの作付けを実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響でコスモス祭りは中止とした。 ・農業者が農業経営の効率化及び安定化を図るために借り入れた制度資金の利子補給金を交付。 ・経営所得安定対策事業による麦への作付転換の促進 ・適正な農地・農業用水等の保全管理を行うため、活動組織(2組織)に対して、農業・農村が有する多面的機能が維持・発揮できるよう指導。 ・麦、大豆の生産性向上を目的とした機械に対する補助金の交付。 ・収入保険への加入促進を目的とした補助金の交付。 	<p>④今後の改善計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業経営収入保険への加入促進や農業生産者支援対策事業により農業者の経営安定と農業の維持を図る。
-----------------------	--	-----------------	--

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		11-	4
事業名	新産業創造推進事業	会計	款	項	目
政策	7 生活を支える担い手があり続けるために	一般	6	1	3
施策	7-1 農業の振興	課名	産業課		
		係名	新産業創造推進室		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	農業者、事業者、住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	付加価値の高い農産物の導入や現在行われている土地利用型農業で生産される作物の付加価値を高め、収益性の高い農業経営を実現し、農業を魅力ある産業に育てる。
事業内容		「農業を核としたまちづくり」を推進するため、大豆の先進的な加工技術を有する企業並びに町内農業法人2社と町が連携し、東員町産大豆の魅力向上等を目的とした事業を推進しています。この事業では、大豆の生産から加工・流通・販売まで町内で一元的に完結できる6次産業化を目指す。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
指標	1	農産品またはそれを活用した特産品数	15			品	↑	20
	2	大豆の町内生産量	123			t	↑	128
	3							
	4							
	5							
			令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)			
全体事業費(千円) A+B				17,277	16,960			17,465
財源内訳	直接事業費 A			447	460			965
	うち一般財源			447	460			965
人件費(千円) B				16,830	16,500			16,500
内訳	一般職員(人・千円)		2.55	16,830	2.50	16,500	2.50	16,500
	臨時職員(人・千円)		0	0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	I 拡充(事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 新たな大豆栽培方法で試験し、課題解決に取り組む 面積拡大を実施するため、生産者の増加を目指す 農産物加工センターの有効活用 	③取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> 農産物加工処理センターの利活用及び取り組み体制強化 付加価値の高い大豆製品の開発 大豆製品及び特産品の認知度向上と販路拡大
②R3年度に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 新しい生産者を増やし、付加価値の高い大豆や新品種の大豆栽培試験の実施 農産物加工処理センターの再活用検討 町内小中学校にて、食育授業の開催 	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 大豆栽培方法について一定の成果を得たことから、面積拡大を実施するため、生産者の増加を目指す 農産物加工センターの有効活用 大豆商品の販路拡大

事務事業No.	11-	5	
会計	款	項	目
一般	6	1	4
課名	産業課		
係名	土地改良係		

事業名	土地改良事業		
政策	7	生活を支える担い手があり続けるために	
施策	7-1	農業の振興	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	①農業生産基盤の充実	目的 (対象がどのような状態になっているか)	主に農業用水利施設の維持管理、更新等を適切に実施することにより、将来に渡り安定して農業の振興を図ります。
事業内容	農業用施設維持管理事務 施設を計画的に維持及び補修、更新することにより、将来に渡り必要とする改修等の費用の平準化を図ります。 農村地域防災・減災事業 防災重点農業用ため池の防災工事に向けた事業の推進を図ります。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1								
2	事業の性質上、指標設定は馴染みません。								
3									
4									
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			18,238		126,793		92,574		
財源内訳	直接事業費 A		13,948		122,503		84,654		
	うち一般財源		12,894		12,294		13,967		
人件費 (千円) B			4,290		4,290		7,920		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.65	4,290	0.65	4,290	1.2	7,920	
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0	0	0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	県、土地改良区と慎重に協議を重ね、補助の目的、支出根拠、負担割合等を明確にし、必要となる協定または規定により定義する。	③取組の課題	農業用水利施設の維持管理及び更新時には多額な費用を要するため、町財政への影響が少なくなるよう適正な負担割合の平準化を図る必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神3期及び4期の改修工事を県により実施。 ・ 防災重点農業用ため池の防災工事の必要性を判断するため、ため池堤体の劣化調査、耐震調査等を行った。 	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県、土地改良区と慎重に協議を重ね、補助の目的、支出根拠、負担割合等を明確にし、必要となる協定または規定により定義する。 ・ 防災重点農業用ため池の防災工事に係る実施計画策定を行う。

事務事業No.	11-	6
事業名	国土調査事業	
会計	款	項
一般	6	1
目		5
課名	産業課	
係名	土地改良係	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内に土地（主に住宅地）を有する者	目的（対象がどのような状態になっているか）	土地に関する実態を総合的に調査することで貴重な財産である土地の所有者・地番・地目・面積・境界を明確にすることを目的とします。
事業内容	地籍調査事業 ・一筆ごとの土地について、所有者、地番、地目及び境界の調査を行います。 ・一筆ごとの土地について、境界の測量及び土地の面積計算を行います。 ・地籍図及び地籍簿を作成し、三重県の認証後法務局にてその成果を基に登記されます。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1							
	2							
	3	事業の性質上、指標設定は馴染みません。						
	4							
	5							
		令和2年度（決算）		令和3年度（決算）		令和4年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B		7,765		3,668		3,394		
財源内訳	直接事業費A	1,495		632		754		
	うち一般財源	1,495		632		754		
人件費（千円）B		6,270		3,036		2,640		
内訳	一般職員（人・千円）	0.95	6,270	0.46	3,036	0.40	2,640	
	臨時職員（人・千円）		0		0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	地籍調査の成果のデータ提供について、法務局窓口で提供できるよう働きかける。	③取組の課題	地籍調査の成果（座標データ等）を更新する必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	・過去に行った地籍調査実施箇所での修正業務等を行った。	④今後の改善計画	・地籍調査の成果のデータ提供について、法務局窓口で提供できるよう働きかける。

事務事業No.	11-	7
事業名	林業経費	
会計	款	項
一般	6	1
課名	産業課	
係名	産業振興係	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	暮らしに身近な森林を整備することにより、生活環境の保全や向上を図ります。
事業内容	危険木伐倒等業務 みえ森と緑の県民税交付金を活用し、これまで整備が進みにくく、荒廃が進んでいる緑地帯や森林地帯を対象とした整備を集中的に実施します。 また、人家裏や通学路沿いで倒木の恐れのある危険木の除去等も行います。 林業業務 森林にかかる許認可事務をはじめ、法定により整備することとなった林地台帳の整備と運用を行います。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1							
	2							
	3	事業の性質上、指標設定は馴染みません。						
	4							
	5							
		令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B		4,802		5,284		8,423		
財源内訳	直接事業費 A	1,502		1,984		5,123		
	うち一般財源	40		675		3,613		
人件費 (千円) B		3,300		3,300		3,300		
内訳	一般職員 (人・千円)	0.50	3,300	0.50	3,300	0.50	3,300	
	臨時職員 (人・千円)		0		0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	・みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、危険木伐倒等業務を実施する。	③取組の課題	みえ森と緑の県民税市町交付金を財源としていることから、事業の内容に制約がある。
②R3年度に実施した取組み	・みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、城山地区外周の危険木伐倒等業務を実施した。また、交付金の活用について他課に働きかけ、建設課、学校教育課より協力を得た。(中部公園フェーズフリーカフェのテーブル・イス、町内保育園・幼稚園の箱積み木を導入)	④今後の改善計画	・笹尾、城山地区外周の危険木伐倒について、一定の成果が出たことから、今後は他地区についても整備を図っていく。また、交付金の活用について他課に働きかけていく。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	11-	8
事業名	商工業振興事業費	
会計	款	項
一般	7	1
課名	産業課	
係名	産業振興係	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内小規模事業者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	商工会への助成を行うことで、魅力ある商工業の振興を図ります。
事業内容	商工業振興事業 経営改善や地域振興のための組織強化を行い、魅力ある商工業の振興を図るとともに、地域産業を主体とした、経営改善の指導ができるよう商工会への補助事業を通じて、小規模事業者への支援を行います。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1	商工会員数 (個人、法人)	510			件	↑
2	制度融資件数	19			件	↑	30
3	商業環境についての満足度	-			%	↑	↗
4							
5							
		令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B		76,971		50,683		17,512	
財源内訳	直接事業費 A	74,331		47,053		14,212	
	うち一般財源	74,331		47,053		14,212	
人件費 (千円) B		2,640		3,630		3,300	
内訳	一般職員 (人・千円)	0.40	2,640	0.55	3,630	0.50	3,300
	臨時職員 (人・千円)	0	0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	C 民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	III 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	・商工会補助金については、基準等が定めていないことから、他市町の状況や妥当性を検証し、慎重に協議を重ねる。	③取組の課題	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者に対する支援が必要である。
②R3年度に実施した取り組み	・商工会による小規模事業者への経営改善の指導等に係る補助金を交付した。 ・国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業を活用し、中小企業等の経済対策として、キャッシュレス決済ポイント還元事業等を行った。	④今後の改善計画	・商工会補助金については、基準等が定めていないことから、他市町の状況や妥当性を検証し、慎重に協議を重ねる。